

## 小来川地区内公共施設適正化検討専門部会会議録

件名	第一回小来川地区内公共施設適正化検討専門部会		
日時	平成31年2月7日(木) 18:00~19:30	作成日	2019年2月8日
場所	小来川林業研修センター 2階多目的ルーム	記録者	管財課 斎藤
<b>出席者</b>			
<日光市> 神保管財課長 星公共施設マネジメント推進室長 管財課公共施設マネジメント推進室職員 高梨小来川地区センター長 小来川地区センター酒井副主幹 日光公民館小杉館長補佐		<専門部会メンバー> (出席部会員、アドバイザー名簿別紙)  (敬称略)	
<b>議事内容</b>			
<b>■配布資料</b> 第一回小来川地区内公共施設適正化検討専門部会 資料1、資料2、資料3 別添参考資料：公共施設マネジメント計画実行計画、周知マンガ			
<b>■議事録</b> <b>1. 開会 ～神保管財課長による挨拶～</b> 本日は大変お忙しいお時間にお集まりいただきましてありがとうございます。第1回の小来川地区内の公共施設適正化検討専門部会ということで、地区の各関係機関の方々にお集まりをいただいております。本日は三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社から西尾先生をお招きしまして、第1回目の会合ということで、今回は市からの説明が主になるかと思いますが、2回目以降はグループワークと言いまして、それぞれグループにわかれていただいて、色んな意見をお聞かせいただければと考えております。この会議全部で4回程度予定してございます。次回は3月に開催を予定しております。大変お忙しい中お集まりいただくこととなりますが、どうぞよろしく願いいたします。」			
<b>2. 部会員・アドバイザー紹介</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出席委員から自己紹介</li> <li>・アドバイザーの紹介並びに挨拶</li> <li>・事務局自己紹介</li> </ul>			
<b>3. 部会長・副部会長選任</b> ・部会長の選出については、この会議の設置の意図として地域の将来的な検討をするというところであると思うので、地域の代表として選任されている自治会長の中から選任してはどうかとの意見があり、4月の各自治会の役員改選の状況も鑑み、現小来川自治会連合会の副会長である滝ヶ原自治会長の佐藤崇氏を推薦する意見があった。また副部会長の選出については、学校PTAからという意見があったが、役員改選が4月にあるとのことで、将来を担う若い世代からの選出をしてはどうかとの事務局からの提案により、地域活動団体の代表をされている柴田雄一郎氏を推薦する声があり、部会員に両者の選任について諮ったところ全会一致で承認された。			
<b>4. 議事</b> <b>○佐藤部会長挨拶</b> 「部会長ということで推薦されましたので、精進して参りたいと思います。この会議、やはり主役は地域の住民でございますから、地域住民が将来的に希望を持ってこれからこの地域に住み続けられるように、そういう施設に、確かにお金のこととか色々なことがあるかとは思いますが、将来的に意見を持って生きていかなければ、地域がなくなってしまいますので、そういう意味でマイナスではなく、プラス思考でやっていければと思いますので、是非とも皆様のご意見をよろしく願いいたします。」  <b>○柴田副部会長挨拶</b> 「副部会長にご推挙いただきました、柴田雄一郎でございます。10年後20年後小来川が今よりも更に輝いて、良い地域にしていけるよう実り多き会にしていきたいと思っておりますので、会長のサポー			

## 議事内容

トの方をしっかりとやらせていただきたいと思いますので、どうぞご協力をよろしくお願いいたします。」

## ○部会長

「それでは、これより会議次第に基づき議事に入ります。それでは、次第（１）小来川地区内公共施設適正化検討専門部会の設置目的、部会員の役割について事務局より説明お願いいたします。」

- （１）小来川地区内公共施設適正化検討専門部会の設置目的、部会員の役割について事務局より、資料１、資料２を用いて説明。

## ○部会長

「ただいまの説明内容につきましてご質問、ご意見等がございましたらお願い致します。」  
特に無いようですが、よろしいですかね。西尾先生から何かございますか。」

## ○西尾アドバイザー

「この時点では特にありません」

## ○部会長

「それでは、次に次第（２）日光市並びに小来川地区の公共施設を取り巻く現状と課題について事務局より説明お願いします。」

- （２）日光市並びに小来川地区の公共施設を取り巻く現状と課題について事務局より、資料３を用いて説明。

## ○部会長

「ただいまの説明内容につきまして、ご質問、ご意見等がございましたらお願い致します。」

## ○部会員 1

「小来川小中学校は残すありきでスタートなのか」

## ○部会長

「いやそれは、まだ白紙ですけど、これは事務局の案ということで、現状の条件的にこういった形が良いのではないかという案を示しているだけですよね。」

## ○事務局

「教育委員会の方でそういった考え方（小来川小中学校は存続）は出しているんですけども、実際地域の児童生徒数も減っているという話もありますし、そういったことも踏まえて、学校はこのままで良いのかということも含めてこの専門部会の中で、検討していただいて、皆さんのご意見を図って行ければと考えております。」

## ○部会長

「学校の存続も含めて検討するということだそうなので、確かにあまり学校について話をしたがないのだが、今後学校をどうするのかということこそそろそろ考えないと、施設の問題ではなくて、子供達のことを考えた時にどうなんだというのはなかなか議論にならないというか、タブーな感じがあるのだが、そう言ったところをある程度ここでも意見を出して、それで決まる訳ではないですが、多少そこは皆で考えた方が良いのではないかという気がしています。

P T A会長さんあたりはそんな話は出ているのですか。」

## ○部会員 2

「P T Aの中ではあまり話は出ていない」

## ○部会長

「この他に小来川には教育振興会というのがありますが、そちらでも荷が重くて検討出来ないという話は聞いておりますが、そういった所も含めて考えていった方が、将来の画が描けるのでは

**議事内容**

ないかと勝手ながら考えているところだが、そういったところもご検討いただければと思う。説明内容はどうでしょうか、色々分析の中から検討していているとは思いますが、説明の中で意味がわからないというようなことは大丈夫でしょうか。

一つ私からお聞きしたいのだが、市民一人当たりの延床面積が全国平均の約 1.8 倍あるということなのだが、これは、全国平均というのはどういうレベルの所が対象なのか。特に日光市なんかは人口密度が低いので、そういったところで平均と合わせて低いのではないかという言い方をしても当たり前じゃないかと。平均に持って行った時に例えば小来川に施設がなくなって、日光、今市に行かなければだめだよという事にもなり兼ねないので。そういう意味ではこの平均っていうのはどういうものなのかなというのが分からない。その辺どんな風にしたいと考えているのかというところをお聞かせ願いたい。」

**○事務局**

「こちらで示しております全国平均ですけども、これ平成 21 年とかだいたい前の統計になります。東洋大学の研究センターの方で全国の自治体の方に、どこがというピックアップではなく、全国一律に調査をかけまして、公共施設の数（面積）を出して人口割で出すと全国平均で一人当たりの延床面積 3.42 m<sup>2</sup>になるというのを統計上出したものになる。どうしても合併した自治体というのは施設の一人当たりの延床面積というのは高い傾向にある。あと、北海道等や日光市もそうですが、行政域が広い面積の自治体というのは、公共施設を物理的に集約することが難しいので、多く保有している傾向にある。これが全国平均より 2 倍だからどうだというよりは、他の地域よりも多く持っているということを確認していただいて、どうしても日光市広いので、一人当たりの延床面積を平均まで下げれば良いのかと言う議論ではなく、目安としてこうした数字を出させていただいているということになる。」

**○部会員 3**

「ディサービスセンターについては、ここでは全く触れないのですか」

**○事務局**

「ディサービスセンターについては、地区センターと同一敷地内にあるのですが、今回再編対象とした施設と比べて築年数が比較的新しいところもあり、ディサービスセンターと診療所については、逆に個別で施設があって、今後一つの施設の中に含めてしまうことが良いのかどうかということもありまして、今回の再編の検討の対象施設には含めていない。ただ、今後のそれぞれの施設のあり方というところでは、ディサービスセンターや診療所の利用者の状況等も見ながら、単体で施設を残していくのか、どこかの施設の中に入れるのかというところは今後検討していくということになってくるかと思えます。」

**○部会長**

「基本的な市の考え方をお聞きしたいのだが、今ある機能、量は小さくしてもその機能自体は減らす、無くすという考えはないということで良いのか。」

**○事務局**

「基本的にはそういう考えです。」

**○部会長**

「他には今の時点ではないようですので、また何かあれば、次回ということで。西尾先生の方から何かございましたら。」

**○西尾アドバイザー**

「先程一人当たりの延床面積の話がありましたけれども、これは部会長ご指摘のとおりで、これは単純に全国を比較しているんで、これを目指すべきという話ではないのだらうと思います。私の居たさいたま市では、2.9 m<sup>2</sup>ということで、都市部は低くなる傾向がありますので、都市部と比較しても仕方がない。ただ一方で、一人当たりたくさん施設を持っているという事自体は間違いがありませんので、こういったたくさん持っている施設が老朽化した時に、凄く厳しい

## 議事内容

状況になるということは、共有しておく必要があるかなと思います。私はいろんな地域の状況を見ていますけれども、日光市の公共施設の老朽化の問題は全国の他の地域に比べて深刻だと思います。先程説明の中で、65%は更新出来ないよという話がありました。今のままだと3分の1位しか維持更新が出来ないというその状況が厳しいということは共有しておく必要があると思いました。

その中で、正に部会長さんが仰っていましたが、建物としては減らしていかなければならないんですけども、その機能とか、その建物を使ってどういうサービスを実現するのかというところは、皆さんの知恵と工夫で、色んな工夫をして膨らませることが出来ると思いますので、そういった検討をしていくことが大事かなと思います。

マネジメントという難しい言葉を使っていますけれども、話はあまり難しくなくて、人口が増えている時に施設を増やしたので、人口が減っていくんだったら、施設を減らしていけば良いのではないかという話だと思います。ただ、施設を減らすというと、どうしてもサービスが減るというところに繋がってしまうという風に考えて、どうしてもなかなか減らすということが難しいという事ではありますけれども、人口が減って、使う人も減っているのだから、施設を減らすということは、サービスが減るということではないのだと思うんですね。よく特に都会で多いんですけど、びかびかの施設を造っているんですけど、使う人が減ってしまって、ガラガラで全然利用されていないという施設があつたりしますので、それって勿体ないですよ。使いたくないのに大きな施設を使って日々維持管理にもお金がかかるので、使う人が減って、少なくなったのだったら、施設も小さくしても一人当たりの使える機能とかサービスというのは変わらないねというところをいかに住民の方と認識を合わせていくということが大事だと思います。

私も色々な自治体に関わっていますけれども、こういった地区で住民の皆さんが集まって、こういうことを検討するという会議は非常に珍しいと思います。大抵は行政の中で案を決めて、それに対して意見を聞くということはあるけれども、今日の話でもありましたように、結構白紙の状態ですよ。学校自体残すかどうかということも含めて、まずは住民の皆さんと話し合おうという形で、そういった所から住民との対話を始めようという自治体というのは凄く珍しいと思いますので、しかも、集まっている皆さんが地域の主要な方々が全部集まっているという形だと思いますので、こういう形で、皆さんで状況を認識しながら、その中で知恵と工夫を出して、いかにその地域の未来に繋がるような施設のあり方を考えるということがこれから大事だなという風に考えます。

部会長さんも、副部会長さんも主役は住民で、10年、20年後のことを考えてプラス思考で行こうという風に仰っていました。そのことが凄く大事なことだと思います。

事務局からは再編のパターンと言うのが具体的に示されて、これはたたき台ということですが、これを主として検討していくということになるかと思いますが、それよりも大事なのはまずは10年、20年後の小来川地区のまちをどうしたら良いかということを考えて上で、施設のあり方、パターンとかを考えるという、そういう順番の方が、進め方考え方としては良いのかなと思います。部会長さんが仰っていたようにこの施設の問題というのは、一度決めると施設って何十年も使い続ける話なので、私たちの視点も大事なんですけど、より大事なことは10年後20年後使っている今の子供達とか孫達とか、その子供達が10年後、20年後どう使っているかなということを想像しながら検討していくと良いのではないかなと思います。」

## ○部会長

「非常に皆さんのご意見、そして考えることが重要なかなと思います。それでは、出された内容について、今色々発言されたところをまとめとさせていただきます。

今後どんな風にしていくだろうと思っている方もいらっしゃると思うので、その辺のところも要望としてこういう風にしてほしいというようなことがありましたら。」

## ○副部会長

「これは私の個人的な意見なんですけども、正直この資料を見て、行政は本庁の方に集約したいと考えているのかなと思っていました。でも、小来川はこのまま機能を残していけるように、現状維持というか、これからやっていけるようにという考えだということも聞いた上でですね、私たちも村おこしを去年から活動を始めたところなんですけど、人を呼ぶ、定住者を増やすと

**議事内容**

「いうのも目的で活動というか、もちろんこれから自分達が主役でやっていかなければならないことになるのですけれども、それを考えた時に、今の小中学校を大幅にリフォームして今後複合施設にしていくという時に、まだイメージが湧かないんです。自分のイメージとしては、栗山の方で複合施設が出来ましたよね。あんなイメージで全ての老人の施設とか保育園とかそういうのが一つの建物の中に新たに出来て、そうすれば、子供からお年寄りの方まで同じ場所、人はどうしても全国的に見ても少なくなってくるのはやむを得ないというところで、その、縮小した1か所に防災から何から全て抱えた時に、常に人が少ない人数、500人、400人になってしまうかもしれないけども、そこに行けば、小来川のその場所に行けば常に誰かが居て、コミュニケーションがとれるというような新しい施設が出来たらいいのかなと、今、今日お話しを伺いまして感じたところです。」

**○部会長**

「次の会議でということも言ったのですが、確認したいのは、だいたいの施設が補助金で施設を整備していますよね。そうすると、文科省とか、厚生省とか、昔は一緒にならなかったじゃないですか、今はそういうのは大丈夫なんですか」

**○事務局**

「今は、施設整備から10年以上経てば、用途の変更等が可能になっています。」

**○部会長**

「他になければ、議事の方はこれで終了にして。事務局にお返しいたします。」

**○事務局**

「その他の事項で、次回会議の開催時間等についてご相談したい。本日は平日夜間の開催とさせていただいたが、今回は冒頭あいさつでもお話ししたとおり、グループワークという形で、グループに分かれて検討していただく。内容的にも今日よりも少し長く、2時間ないしは3時間となるかもしれないというところで、今日のような夜間が良いのか、場合によっては、土日等の休日の昼間の方が集まりやすいというようなことがあれば、会議開催時間等の参考にしたいと思うのですが。」

「特にご意見もないようであれば、今回は本日と同じように平日の夕方から開催してみても、やってみた中で、もう少し時間をかけたいとか、状況を見てご相談しながらということでもよろしいですか。」

**○部会員**

「一同了解」

**○事務局**

「では、以上を持ちまして第一回小来川地区内公共施設適正化検討専門部会を終了させていただきます。」

以上